

# グループホームせきのみや

【入居状況】令和2年8月末現在  
入居者数 男性:3名 女性:15名 待機者:16名

## 納涼会

毎年開催している恒例行事です。  
屋台をイメージ！夏を感じて楽しみました。



## 活動やりましたカード

カードにスタンプを押して、いっぱい  
になったら景品と交換です♪  
皆さんで競い、楽しみながらできるだけ  
身体を動かしています。



風船バレー



グラウンドゴルフ



タオル体操

## 野菜の収穫

地域のボランティアさんに植えていただいた夏野菜、沢山収穫  
できました。毎日食卓に並び、収穫の喜びを味わっています。



## 昔を思い出しながら

昔話に花を咲かせながら、食事作りや季節の企画に  
参加されています。



そうめん流し



おやつ作り



梅干し作り



かき氷



食事作り

## お譲りください

・杵と臼…一組



お譲りいただける方がいましたら、「グループホームせきのみや」  
までご連絡お願い致します。(電話:079-667-3110)

まだ少し暑さも残るのでしょうか、あっという間に秋を迎えます。  
今年は新型コロナウイルスの影響で、外出や行事、家族様の訪問の制限があり、何もかもが普段どおり  
にはいきません。  
このような状況ではありますが、少しでも入居者の皆様に楽しみ、喜びを感じていただける様に食事企  
画、運動、遊び等普段より逆に「密=関わり」を大切にしながら過ごしていきたいと思ひます。

管理者 西谷恵里



# グループホームやぶ

【入居状況】令和2年8月末現在  
入居者数 男性:2名 女性:16名 待機者:14名

## 惣菜バイキング

ごちそうばかり(^^)楽しく選んで、たくさん食べました。



ひんやり美味しい飲み物を頂きました。  
冷たくておいCー♪

## 納涼喫茶店



## おやつ作り

懐かしいおやつから、「これは何?」と聞かれるおやつまで。  
甘くて、美味しいおやつが大好評です!



フレンチトースト



おはぎ

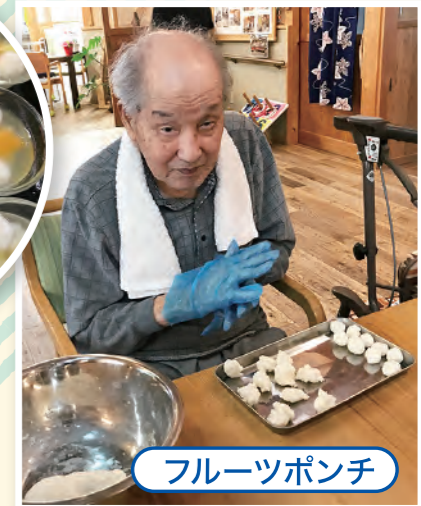


掃除

## 日常の様子



トマトの収穫



フルーツポンチ

野菜の収穫や、レクリエーションなど皆さんの日常の様子です。  
この他にも、洗濯物干しや食事作り、塗り絵、写経など…入居者さん一人一人が日課や趣味に勤しんでおられます。



掃除



レクリエーション

夏も終わり、早くも秋ですね。今年は新型コロナウイルスの影響もあり、外出や行事も今までのように思うようにできず、またご家族様の訪問も制限がある中、何もかもが普段どおりにはいかないのが現状です。  
中でも入居者の皆様に楽しみ、喜びを感じていただける様に食事企画、運動、レクリエーションを企画しています。

管理者 松田 靖則



## 小規模多機能ようか

利用者登録23名  
【定員25名】【通い13名以下】【宿泊5名以下】

### 野菜の収穫



春に植えた「ししとう」を収穫！毎日観察しながら収穫を楽しみにしていました。大きなししとうが採れ、おいしく頂きました。



### 製作作業



今年は花火大会がなくさみしかったので花火の吊るし飾りを製作。色とりどりの花火を施設内に飾りました。



### そうめん流し

夏の風物詩そうめん流し！暑い夏にぴったりですね。



暑い夏が終わり、秋の訪れを感じる季節がやってきます。新型コロナウイルスの影響により、季節を感じるイベント、外出企画や行事が少なくなり、さみしい気持ちもあります。こんな状況だからこそ、「繋がり」「寄り添い」をより一層大切にしながら、利用者の方と一緒に過ごしていきたいと思えます。

管理者 上垣友佳

## 【コラム】八分音符♪「晴れの日」「ケ」の日

「自分は絶対に他人にうつさないぞ」と考えるだけで、周りの化け物は人の顔を取り戻すものである。吉村萬幸(まんいち)朝日新聞 折々のことば 2020.5.15

コラムにこのように書いてありました。「移されたくない」と思うと、周りが化け物に見えると。コロナウイルスに感染したのは、そのような行動をとった自己責任という考え方が根底にあるのでしょうか。他人を恐れると同時に、自分にも足枷を課し、強い緊張とストレスを感じます。反転させて、「周囲の人にうつさないようにしよう」と思うと、化け物に見えた周囲の人が、人にもどると。そして、こうも書いてありました。こういったことは、コロナ禍以前から社会にあった。

コロナ禍は私たちにいるんなことを教えてくれました。グローバリズムや経済優先の国造りの脆弱さから、おもてなしの国であるはずの日本国民のもうひとつの顔まで。

「晴れの日」「ケ」の日という言葉があります。「ケ」の日とは日常を指します。普段は意識しない日常は、こんなにも簡単に消え失せるものであることを世界中の人が教えられました。「ケ」の日が穏やかでないと、「晴れの日」はありません。

人生で一度しかない「晴れの日」や「大切な人との別れの日」を奪われた人々のいかに多いことか。そして不条理な死は今も続いています。「ケ」の日の有難さ。そこに気づかされた人も多かったと思います。

今後コロナ禍が収束したとして、もたらされた厄災は国民の心にどこまで残るのでしょうか。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」にならなければいいのですが…



コラム名の「八分音符」は、楽しいことがあったときに、よく漫画とかで頭の上に浮いている“♪”からつけました。思わず“♪”となるようなコラムにしていきたいと思えます…

### 塩分に気をつけよう

#### さんまの塩焼き(2人前)



- 【材料】
- ・さんま…2尾
  - ・塩…小さじ1/2
  - ・酒…1/4カップ
  - ・大根おろし…100g
  - ・すだち…1個

#### 【作り方】

- ①さんまは内臓を取り、水洗いする。
- ②塩、酒を混ぜ合わせ、(1)のさんまを20分くらい漬ける。
- ③グリルや、クッキングシートを敷いたフライパンで焼く。
- ④器にさんまを盛り、大根おろしと半分に切ったすだちを添える。



point! 酒は魚の臭み取りと、塩を均一に浸透させる効果。大根おろしにはしょうゆをかけず、すだちを絞って減塩に。

### 寄付

中村 泰三・・・金員  
竹内 豊國・・・紙オムツ

ご寄付をいただきありがとうございました

### 編集後記

今年は、納涼祭『STARS』は中止となりました。毎年多くの来場者で賑わう、当施設の一大イベントでもあったため残念でなりません。

納涼祭以外にも中止・延期せざるを得ないイベントは多々ありました。しかし、入居者・利用者様の楽しみが減ることがないように、各事業所で様々な取り組みをしています。

これからも、たくさんの「楽しい！」をお届けできるよう精進して参ります。 松崎 夏奈